

(市民活動センターニュース)

Ren Ren

ねやがわ

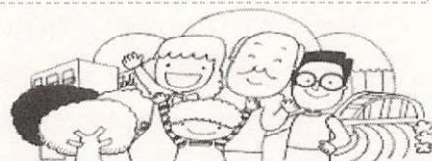
連・連

発行: 寝屋川市民活動センター 〒572-0848 寝屋川市秦町41-1
Tel.072-812-1116 Fax.072-812-1118 E-Mail. smkd-center@orion.ocn.ne.jp
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~katudo/>

活動の強い味方 市民活動センター

寝屋川市立市民活動センターでは、
個々の思いを大切にしたいところの豊か
さを育むボランティアや市民活動団体を
応援していきます。

市民の皆さんの活動拠点として少しでもご
利用いただきやすいように多様な「場」を準
備しています。(2面に関連記事)
詳しくは市立市民会館4階事務所まで。



交流の場として

◆センター事務所◆

利用に関する問い合わせ、ボランティア活動
に関わる相談など、センターの総合窓口です。

◆情報コーナー◆

市民活動団体の活動報告や会員募集・イベン
ト・講座・助成金などの情報提供をしています。

◆メールボックス◆

センターを利用する団体相互の連絡等に利用
できます。(48個 毎年更新・無料)

◆子ども室◆

お子様連れでも活動でき、子どもへの目配り
もできます。(要予約・無料)

◆交流サロン◆

市民活動が目的ならどなたでも利用できま
す。気軽な打ち合わせや談笑に。(飲食不可)

◆料理室◆

講座・イベントなどにあわせて、いろんな調理
器具でお料理を楽しめます。(要予約・有料)

活動施設として

◆インキュベーター室◆

市民活動をはじめたい人の専用事務スペー
スです。4ブースにそれぞれ机・椅子を用意
しています。(有料・現在募集枠無)

◆印刷室◆

印刷機・ラミネート(有料)・折機・カッタ
ー機(無料)が利用できます。

□ロッカー(36個毎年更新・現在募集枠無)

会議スペースとして

◆ワーキングスペース◆

会議やミーティング、軽作業などに利用で
きます。(定員8人 要予約・無料)

◆和室◆

会議などに利用できます。(定員20人 要
予約・無料)

◆ミーティングコーナー◆

市民活動関係図書や各市の情報紙を置いて
います。(要予約・無料)

意見続出!! 市民活動を元気にする「交流の場」

3月11日午後6時30分から「交流の場が市民活動を元気にする!」をテーマに交流会を開きました。これは、市民と行政がそれぞれの立場での市民参画推進の取り組みや、市民と市の「まちづくりパートナーシップ」形成に向けての事例紹介や方向性などに関する意見交換をしながら、情報の共有とコミュニケーションの場としての交流を目的にしています。

市民(11人)行政職員(2人)13人参加のもとお互いが、うちとけやすいように「春よ来い」などの合唱ではじまった交流会ではたくさんの情報が寄せられました。

○「ナルク」では高齢者対象の活動中。また、開催中のシニア介護サポーター養成講座は会員のみならず市民を含めた企画として進めている。

○市民活動センターの仕事に関わって7年になる。他の部署へ異動後も、この交流会には参加し続けたい。(市職員)

○「チャリンコで灯り」を合い言葉に自転車の無灯火防止の活動をしてきた。これには、みんなの心に灯りが点るよにとの気持ちも込められている。

○4月20日から25日に市社会福祉協議会ボランティアセンター登録ボランティアグループが「にこにこボランティアまつり」を開催。

○「ゆっくりパソコン」は会員が倍増。今後様々な会に参加していきたい。

○活動をとおして子どもを育てる大変さを実感



いろいろな立場の人が集まり、いろいろな意見が出された交流会 = 市民会館4階13会議室

○快適な環境を広める会で清掃活動をしている。今では8つの事業所・自治会が関わっている。長く続けることの重要性を学んだ。

○3月14日開催の「多文化フェスタ」へ多くの参加をお願いする。

○ボランティア活動や交流は地道なつきあいが大切。

○市のブランド基本方針が策定されて『ワガヤネヤガワ』ブランドで発信。後ろから読んでも……。また、ゆるキャラサミットに「はちかづき」も参加予定。(市職員)

～主な意見の要約～

「ワーキングスペース」デビュー



「落ち着いてミーティングができるようになりました」と利用者の声

当センターでは、会議や軽作業などのできるワーキングスペース(定員8人)を和室の一部を分割して、新たに設営しました。

これにともない、ロッカー室の利用はロッカー使用と製本などの軽作業に限定されることになりました。また、ロッカー室内のロッカー横に、一時預かりの棚を設置。(6段)1回の申込の使用期間は1ヶ月内、1段の申し込みとなりますが希望される団体は申請してください。

中国・福州で日本語を教えて

～平成22年2月22日～

いまや国際社会において台頭著しい中国からの留学生や就労者が日本各地で数多く生活しています。中国の発展ぶりは国際社会においても抜きにしては考えられないと聞きます。今回は中学校教師を定年退職後、中国で日本語教師として活躍する鶴丸志よう子さんを迎えて、中国の学生生活や勉強に向かう姿勢、また一般市民の生活についてお話していただきました。



■福建師範大学協和学院の紹介

福州は暑い地域で、近くにはさとうきび畑があり、田園の内にある大学という風である。全寮制で生活は学内でまかなえるが買い物などで街へ出かけるときはクーラーの効いていないバスで20～30分かけて行く。

■学生の授業態度

当学院では女子学生が圧倒的に多い。中国では先生や家族・長老などが尊敬される社会であり、先生、先生としたってくれる。

発表になどについては積極的で、特に発表型の授業では、パソコンで調べてきて積極的に臨む。日本の話しをすると質問が続出し、日本への思いは大変強い。

■福州の生活あれこれ

化粧をしない女学生が多いが、ファッションは日本人と同じように興味をもっている。

学生には先生が個人的に指摘をすることはタブーで、全体の授業の中で説明する形。

学生からのプレゼントはしょっちゅうあり。それは、先生や目上を大切に、父母を大切に作る文化の表れだろう。

■日中の今後 ～最後に～

男性60歳、女性55歳で定年、その後子孫の世話をしていくのが一般的なスタイル。

中国での外国人は220万人、そのうち永住者は60万人、留学生は8万人といわれている。日本へ帰る関空便の飛行機では150人のうち、日本人は5人。多くが年齢30歳～40歳の日本への研修生とみられる。中国では、多くの人に来日の経験があり、私の会った文房具屋や料理店の店長も上手な日本語を使っていた。

まじめに勉強する大学生、中国社会での活気などのエネルギーを得、あらたに向学心を強めて私は、日本へ帰ってきた。

★聴講者のこえ★

○[Q]反日感情が強いと思っていたが、福州ではそうでないと感じた。(50代男性)

○[A]鶴丸さん「学校でも、地域でも私は日本からきた日本人教師として大事にされてきた」。

○中国社会の活気が大変感じられた(50代女性) ～以上聴講者要旨より～

大好評 パソコントラブル対応法
相談教室

「パソコンを使っているのですが、ちよくちよく手に負えなくなることがあります」こんな皆さんの声に応じて当センターでは「NPO 法人北河内市民カルチャーセンター(楽習)」



さんの協力で、トラブル対応の相談教室を開いています。(写真)

22年度も4・5・7・9・10・12～2月の8回予定しています。

詳しくは当センターまで

平成22年度事業予定

センターの管理運営 1. 指定管理者としての市民活動センターの管理運営 2. 市民活動 団体との連携 年度事業計画が策定されました。 を柱として平成22

	事業名
4月	・運営委員会 ・市民活動交流会 ・連・連発行・NPOなんでも相談・パソコントラブル対応相談
5月	・総会 ・市民活動NPO講座 ・市民活動体験教室 ・NPOなんでも相談・パソコントラブル対応相談
6月	・運営委員会 ・市民活動交流会 ・NPOなんでも相談 ・スキルアップ講座
7月	・運営委員会 ・市民活動交流会・登録団体交流会・市民活動体験教室 ・連・連発行・NPOなんでも相談・パソコントラブル対応相談
8月	・運営委員会 ・市民活動交流会 ・NPOなんでも相談・スキルアップ講座
9月	・運営委員会 ・市民活動交流会 ・コミュニティビジネス講座 ・NPOなんでも相談・パソコントラブル対応相談
10月	・運営委員会 ・市民活動交流会 ・市民活動体験講座 ・連・連発行 ・NPOなんでも相談・パソコントラブル対応相談
11月	・運営委員会 ・ ふれあいフェスタ ・ボランティアのつどい ・NPOなんでも相談
12月	・運営委員会 ・市民活動交流会 支援補助金申請 ・スキルアップ講座・NPOなんでも相談・パソコントラブル対応相談
1月	・運営委員会 ・市民活動交流会 ・市民活動体験教室 ・連・連発行 ・NPO何でも相談・パソコントラブル対応相談
2月	・運営委員会 ・市民活動交流会 ・スキルアップ講座 ・NPOなんでも相談 ・パソコントラブル対応相談・登録団体交流会
3月	・運営委員会 ・市民活動交流会 ・市民活動NPO講座 ・NPOなんでも相談

ねやがわ市民活動見聞録

「チョット待つて頂戴、そのゴミをポイ捨てしないでくださいネ。わたし、その掃除に苦労しているの。お願いネ」

「お陰さまでこんなに綺麗に・・・(写真)」

こんなポスターが市内幹線道路歩道脇のフェンスで目にとまります。このユニークな言い回しは結構効果をあげてきています。

ポスターや看板が架かっている付近の自治会や事業所が、清掃や環境美化活動に賛同し協力。このような活動を当センター登録団体「快適な住環境を広める会」がしていること、今年も5事業所の賛同協力が予定され、環境美化活動の市民意識向上で、意気ますます軒昂とか。(大村)



「ボランティア清掃かんぱん」のひとりとこと



寢屋川市立市民活動センター利用案内

開館時間 9:00~21:00

(日曜祝日は9:00~17:30)

休館日 毎月第2月曜日および12/29~1/3

TEL:072-812-1116 FAX:072-812-1118

E-mail smkd-center@orion.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~katudo/>

〒572-0848 寢屋川市秦町41-1 寢屋川市立市民会館4階